

トビカ 水性脱脂洗浄剤

マ リ ッ ト

本品は非イオン性界面活性剤を主成分とする強力な水性脱脂洗浄剤であります。しかも有機溶剤や毒性のある化学物質を一切含んでおりませんので、**安心**して御使用いただけ、又御使用目的に応じて適当に水で希釈できますから、大変**経済的**であります。更に、金属、プラスチック、ゴム、陶磁器、硝子、コンクリート、木材、繊維、塗面などあらゆる材質の洗浄に使用でき、しかも、その表面を全く侵すことはありません。

特 徴

金属メッキの前処理用、機械洗浄用、塗装前処理用、金属バフかす除去用、その他動植物油、鉱油、グリースなどの汚れの除去用。

主な用途

1. あらゆる材質の洗浄が可能です。
2. 腐蝕性がありません。
3. トリクロロエチレンと同等の優れた脱脂力を持ちます。
4. 悪臭や毒性、危険性はありません。
5. 常温で使用できます。
6. 5倍から100倍の水で希釈して使用するので経済的です。
7. メッキ前処理用として、酸液中に添加使用すれば脱脂と除錆が同時にできます。



技術資料

外 観	乳白色エマルジョン
pH	9.2±0.2
粘 度	400~600 cps (20℃)
比 重	1.035~1.045
凝 固 点	-2℃
分解温度	58~60℃
浮遊物質(SS)	5 mg/ℓ
※生物学的酸素要求量(BOD)	29.0g/ℓ
※化学的酸素要求量(COD)	160g/ℓ
※n-ヘキサン抽出物質含有量	104g/ℓ

備 考 当製品には次の化学物質並びにこれらを成分とする化学物質は使用しておりません。
PCB 砒素化合物 鉛化合物 クロム化合物 カドミ化合物 シアン化合物 有機錫化合物 水銀化合物
※は原液1mlにおける値(試験方法JISK0102)

注意事項

1. 本品は静置すると、下層部が透明になることがあります。上下転倒などの振とうにより容易に均一系に戻ります。
2. 凍結した場合には15~25℃まで温度を上げて均一な乳化状態になるまで攪拌してから御使用下さい。
3. 直射日光に長時間あてると、若干変色することがありますが、性能は変わりません。

廃液の処理

脱脂後の油分を含んだ廃液は工場排出油の処理方法により処理してください。

廃液を70℃以上に加温しますと油脂分は分離し上に浮きます。トビカ・マリット自体はPH 9.0~9.4ですので、酸で中和して流してください。

使用方法

＜浸漬洗浄＞

1. 適正濃度にうすめた トビカ・マリット に被洗浄物を浸漬します。
2. 液の濃度、油、よごれの付着の割合によって違いますが、約30分浸漬してあげます。
3. 水ですすぎ洗いして仕上がりです。

＜洗浄液濃度＞ 水又は温水（50℃以下）で希釈して使用する場合。

汚れの種類	軽度の汚れ	甚だしい汚れ
動植物油、手垢類	100～30倍	30～20倍
鉱油、グリース類	30～20倍	20～10倍
ワックス類	20倍～10倍	10～5倍

トビカブラッキーなど金属常温黒染剤の前処理に使うときは5倍にうすめてください。

＜洗浄法＞

一般には浸漬法、スプレー法、ブラッシング法が用いられます。超音波法を用いる場合は、洗浄液の濃度は上表の5分の1程度ですみます。

＜洗浄温度＞

50℃以下。温度が高い方が洗浄力は増大しますが、50℃以上では成分の一部が分解し、逆に洗浄力が減少するので注意を要します。3倍の濃度が最高で、それ以上濃くしても脱脂力は強くなりません。

＜後処理＞

水ですすぎ洗いをします。

＜メッキ前処理用＞ 酸液中に添加して、脱脂と除錆を同時に行う場合。

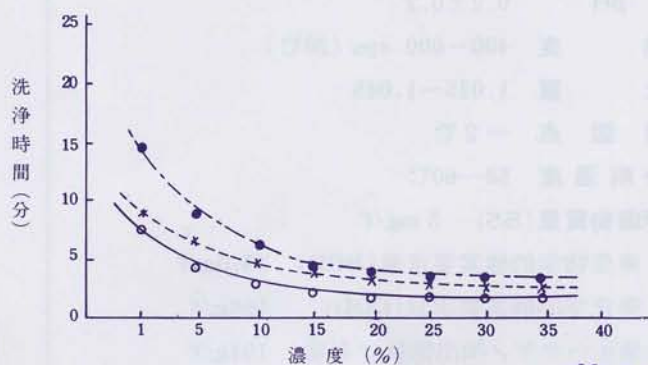
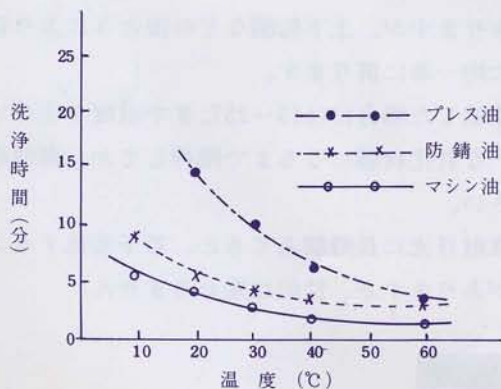
酸液100部に本品5～10部を添加してよく混合して使用します。

＜金属バフかす除去用＞ ケロシンなどの溶剤を添加して、エマルジョンとして使用する場合。

水100部に本品10部を加えてよく攪拌し、次にケロシン20部を加えて、再び攪拌して使用します。

〔温度と脱脂力〕

被洗浄物に付着している油の性質にもよりますが、温度が高い方が脱脂力もより大きくなります。但し、50℃以上では効果は変わらず、又成分の一部が徐々に分解して、逆に洗浄力が低下して行くので好ましくありません。



荷姿 16kg入

製造元



東美化学株式会社

〒132-0034 東京都江戸川区小松川3-2-2
TEL: 03 (3683) 5631 (代表)
FAX: 03 (3637) 7877

URL: <http://www.tobika.co.jp> E-mail: info@tobika.co.jp